

## 2023年度 第3回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 2023年9月28日(木) 13:00~14:30
2. 開催場所 : 株式会社東北新社 会議室 (東京都港区赤坂 4-8-10)
3. 委員の出席 : 委員総数 7名 / 出席委員数 5名  
出席委員の氏名 : 小池保 委員長、渡辺祥子 委員、渡辺純一 委員、藤森益弘 委員、田久保敏 委員  
欠席委員の氏名 : 谷口恭子 委員、横山宗嘉 委員

放送事業者側出席者氏名 :

<株式会社東北新社メディアサービス>

漆原 弘子 代表取締役社長

<AXN株式会社 ザ・シネマ事業部>

榎本 豊 ゼネラルマネージャー、小林 淳(事務局)

4. 審議対象チャンネル: ザ・シネマ HD

5. 議題 : 放送企画審議

<審議対象放送企画>

- (1) 放送企画: 「ワーナー・ブラザース 100周年連動企画」
- (2) 放送企画: 「【4か月連続】Kシネマ GUIDE」

6. 審議内容

(1) 放送企画: 「ワーナー・ブラザース 100周年連動企画」

- ・「メジャーだから」「100周年だから」のどちらの比重が高かったか？  
→「メジャーだから」が大きい。
- ・コロンビア映画も来年100周年なので取り上げたらどうか  
→来年予定している。現在ライセンサー側と作品購入交渉の中で話し合っている。  
→今回ワーナーとの取り組みを見てソニーもぜひ、という話になっている。
- ・23年中継続とのことだが、今後の企画は？  
→10月にはクリント・イーストウッドの監督作品を特集する。
- ・作品選定のアプローチはどのようにしているか  
→購入については、弊社側・ライセンサー側、相互に提案してすり合わせる形
- ・競合他社がこの企画を取り上げなかったのはなぜか  
→それぞれの編成時の都合や、考え方かと思うが、はっきりとは不明
- ・WB本体として100周年を打ち出しているのか？  
→世界共通でキャラクターを打ち出したり、パッケージを再発したりなど行っている。
- ・(それほど映画に詳しくない)一般ユーザーにとって「WB」というのは引きになるのか  
→一般の方にはあまりないかもしれないが、映画を観ていれば「WB」のロゴは必ず見かける。

また名作があることは知っている、という人は多い。

- ・トーキー時代のものも取り上げたら良いのでは。例えば「ジャズ・シンガー」新旧版を並べる、など。

(2)放送企画：「【4か月連続】Kシネマ GUIDE」

- ・「ハリウッド映画中心」という看板は変化あるのか？

→比率としてハリウッド映画がメインであることは変わらないが、いい映画はアジアなど広い範囲のものを購入していく。

- ・韓国映画(ドラマ)は、女性が見ている。ラブストーリーよりアクション系のニーズが多いと感じる。

- ・原語で楽しむ(字幕)ニーズが高いのか？

→韓国語のセリフ、お気に入りの俳優の声で観たい、というニーズのほうが高い。

- ・「歴史もの」「政治もの」は面白い。今回の編成の中では『シルミド』など。

- ・今 BS では朝はどこも韓国ドラマ。なぜこんなに流行っているか考えるか。

→韓国では国策として30年程度前からコンテンツに力を入れてきた。その好影響が制作にも現れているのではないかと考える。

- ・韓国以外の、タイなどのアジア映画についてはどうか？

→今も、タイ、ベトナム、中国、などの作品を放映しており、今後も扱っていく。

<事業者回答>

- ・頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の番組編成の参考にさせていただく。

以上